

2022年6月

医療関係者 各位

日本ジェネリック株式会社

抗悪性腫瘍剤
(チロシンキナーゼインヒビター)
イマチニブメシル酸塩錠

イマチニブ錠100mg「JG」

「効能又は効果」「用法及び用量」追加に関するご案内

謹啓 益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記製剤に関して、下記のとおり、「効能又は効果」「用法及び用量」の追加が、6月15日付で承認されましたので、ご案内申し上げます。これにより、先発医薬品(グリベック錠 100mg)との適応不一致が解消されました。

今後も引き続き、弊社製品をご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹 白

記

【効能又は効果】

- 慢性骨髄性白血病
- KIT(CD117)陽性消化管間質腫瘍
- フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病
- FIP1L1-PDGFR α 陽性の下記疾患
好酸球増多症候群、慢性好酸球性白血病

【用法及び用量】

〈慢性骨髄性白血病〉

慢性期: 通常、成人にはイマチニブとして 1日1回 400mg を食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜増減するが、1日1回 600mg まで増量できる。

移行期又は急性期: 通常、成人にはイマチニブとして 1日1回 600mg を食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜増減するが、1日 800mg(400mg を 1日2回)まで増量できる。

〈KIT(CD117)陽性消化管間質腫瘍〉

通常、成人にはイマチニブとして 1日1回 400mg を食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜減量する。

〈フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病〉

通常、成人にはイマチニブとして 1日1回 600mg を食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜減量する。

〈FIP1L1-PDGFR α 陽性の好酸球増多症候群又は慢性好酸球性白血病〉

通常、成人にはイマチニブとして 1日1回 100mg を食後に経口投与する。なお、患者の状態により、適宜増減するが、1日1回 400mg まで増量できる。

<備考>このたび、下線部が追加となりました。詳細については、添付文書をご参照下さい。

【本件に関する問い合わせ】

日本ジェネリック株式会社 お客様相談室

TEL 0120-893-170 受付時間: 月～金 9:00～18:00(祝日を除く)

以 上